

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2848 号	氏 名	藤 田 崇 宏
審 査 委 員 会	主 査 教 授	田 中 淳 司	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>日本における悪性腫瘍の患者の結核症の特徴は報告が乏しい。 本論文では 2002 年 9 月から 2008 年 3 月までの間に静岡県立静岡がんセンターにおいて微生物学的に結核症の診断がついた患者の診療録を後方視的に検討を行い、日本のがんセンターにおける活動性結核のがん患者には胸部の画像診断で陳旧性結核の所見を呈している症例が多いことが示された。 また結核の発症ががん治療の遅れの原因となりうることが示された。 これらの結果より日本のがん患者においては、胸部の画像診断で治癒した結核症を示唆する陳旧性の所見を呈する場合に、結核症のスクリーニングの対象とすることが望ましいことを提唱している。 従って、本論文はこれまでに明らかにされていなかったがんセンターにおける結核症の特徴とがん治療への影響を明らかにし、日本でのがん患者における結核症のスクリーニングについて陳旧性結核の所見が重要であることを提唱した点において優れた価値があると評価される。</p>			
本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			